

VIII. 参考資料

1 計画目標の達成状況評価表

「計画目標の達成状況評価表」に記載されている「★上記施策に関係する事業の実施状況」、実施事業による基本施策・施策・施策の目標の達成状況及び参考指標の傾向を勘案し、実施主体である、市、武蔵野プレイス、市民社協による評価及び市民活動推進委員会による評価を記載しています。

基本施策 1：市民活動の裾野の拡大

1-1. 市民活動のきっかけづくり

基本施策	1 市民活動の裾野の拡大
施策	1 市民活動のきっかけづくり
施策の目標	市民の市民活動に対する関心を高める 市民の市民活動への参加の多様性を深める
取り組み事例	① 教育機関等と連携した市民のボランティア意識の醸成 ② 市民活動に対する理解促進のための講座等の企画・実施 ③ 対象者別の活動のきっかけづくりとなる場の提供 ④ 市民活動に対する寄付文化の醸成 ⑤ ボランティアコーディネーターの育成

★上記施策に関係する事業の実施状況

事業名称		各年度の実施の有無			
		24	25	26	27
1	武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)	○	○	○	○
3	むさしのヒューマン・ネットワークセンター事業	○	○	○	○
4	男女共同参画週間事業	—	○	○	○
6	市民活動促進事業	○	○	○	—
8	地域貢献活動推進事業	○	○	○	○
10	国際交流協会事業補助	○	○	○	○
11	避難所運営組織による避難所開設・運営訓練に対する支援事業	○	○	○	○
12	むさしの環境フェスタ	○	○	○	○
13	地域猫対策協働事業	○	○	○	○
16	新クリーンセンターオープンハウス	—	—	○	—
17	武蔵野クリーンセンター運営協議会環境イベント	○	○	○	○
19	高齢者食事学事業	—	—	○	○
21	子育て支援講習会	○	○	○	○
22	子育てひろばボランティア養成講座	—	○	○	○
25	中高生リーダー講習会	○	○	○	○
36	【プレイス】市活人展	○	○	○	○
37	【プレイス】講演会	○	○	○	○

38	【ブレイス】ニュースレター発行	○	○	○	○
39	【ブレイス】市民活動情報コーナー	○	○	○	○
44	【ブレイス】市民活動の森	—	—	—	○
45	【ブレイス】市民活動学校	—	○	○	○
50	【市民社協】ボランティア育成事業	○	○	○	○
51	【市民社協】心のバリアフリー啓発事業	○	○	○	○
52	【市民社協】広報紙発行(ふれあい、VCM通信)	○	○	○	○
53	【市民社協】お父さんお帰りのなさいパーティ	○	○	○	○
54	【市民社協】お父さんお帰りのなさいサロン	○	○	○	○
55	【市民社協】夏！体験ボランティア	○	○	○	○
56	【市民社協】入門講座	○	○	○	○
61	【市民社協】協働講座	○	○	○	○

★参考指標

項 目	各年度の状況			
	24	25	26	27
1 武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)来場者数	223	109	133	173
2 むさしのヒューマンネットワーク事業来場者数(延べ)	302	330	343	342
3 男女共同参画週間事業来場者数(延べ)	—	254	734	610
5 市民活動促進事業参加者数(延べ)	550	345	345	—
7 地域貢献活動推進事業参加者数(延べ)	77	119	73	137
8 市民活動かわら版フェイスブック閲覧状況(いいね数)	—	122	211	319
11 むさしの環境フェスタ来場者数(約)	1,500	3,000	4,000	4,000
13 新クリーンセンターオープンハウスイベント来場者数	—	—	700	—
14 武蔵野市クリーンセンター運営協議会環境イベント来場者数	36	360	300	350
16 高齢者食事学事業参加者数(延べ)	479	416	408	798
17 子育て支援講習会講座参加者数	40	40	46	32
18 子育てひろばボランティア養成講座参加者数	24	57	38	54
20 中高生リーダー講習会登録者数	67	69	71	54
31 【ブレイス】市民活動支援事業参加者数(延べ)	229	429	544	469
32 【ブレイス】市民活動支援事業定員充足率(%)	53.4	63.4	73.7	73.2
33 【ブレイス】市民活動支援事業満足度・お役立ち度(満足・やや満足の割合)(%)	81	84	86.7	88.1
34 【ブレイス】フェイスブック閲覧状況(いいね数)	—	224	633	929
35 【ブレイス】ワークラウンジポスター掲示件数	—	258	336	342
43 【市民社協】ボランティアセンター武蔵野活動会員登録数(個人)	374	445	510	573
44 【市民社協】ボランティアセンター武蔵野活動会員登録数(団体)	71	81	88	92

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する実施主体による自己評価

市、武蔵野ブレイス、市民社協ともに様々な事業を実施しており、積極的に市民活動のきっかけづくりに取り組んでいる。参考指標についても、増加傾向にある。今後については、市民活動への参加の多様性を深めるため、特定のテーマにとらわれず、広く世代別、テーマ別の事業を展開していきたい。

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する市民活動推進委員会による評価及び意見

市民活動のきっかけづくりとして、市民活動に関する学びの機会の提供は、概ね行われているが、実際に参加を促すための活動が弱い。今後については、講座等の学びの機会を引き続き提供するとともに、実際の活動に参加していただけるよう橋渡しをする仕組みの構築などが必要である。

1-2. 多様な活動につながる情報の提供

基本施策	1 市民活動の裾野の拡大
施策	2 多様な活動につながる情報の提供
施策の目標	市民や市民活動団体の活動の幅が広がり、多様な活動に展開する
取り組み事例	① 市民活動団体の情報発信体制の拡充 ② 市民活動広報誌のウェブ化と配置場所の拡充 ③ 市民活動団体のPRに資するイベント等の企画・実施 ④ 活動につながる多様な情報の発信

★上記施策に係る事業の実施状況

事業名称	各年度の実施の有無			
	24	25	26	27
1 武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)	○	○	○	○
3 むさしのヒューマン・ネットワークセンター事業	○	○	○	○
4 男女共同参画週間事業	—	○	○	○
6 市民活動促進事業	○	○	○	—
8 地域貢献活動推進事業	○	○	○	○
12 むさしの環境フェスタ	○	○	○	○
17 武蔵野クリーンセンター運営協議会環境イベント	○	○	○	○
18 ごみ減量協働事業	○	○	○	○
24 子育てフェスティバル	—	—	○	○
36 【プレイス】市活人展	○	○	○	○
37 【プレイス】講演会	○	○	○	○
38 【プレイス】ニューズレター発行	○	○	○	○
44 【プレイス】市民活動の森	—	—	—	○
45 【プレイス】市民活動学校	—	○	○	○
52 【市民社協】広報紙発行(ふれあい、VCM通信)	○	○	○	○
53 【市民社協】お父さんお帰りをさいパーティー	○	○	○	○
55 【市民社協】夏！体験ボランティア	○	○	○	○

★参考指標

項目	各年度の状況			
	24	25	26	27
1 武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ) 来場者数	223	109	133	173
2 むさしのヒューマンネットワーク事業来場者数(延べ)	302	330	343	342
3 男女共同参画週間事業来場者数(延べ)	—	254	734	610
5 市民活動促進事業参加者数(延べ)	550	345	345	—
7 地域貢献活動推進事業参加者数(延べ)	77	119	73	137
8 市民活動かわら版フェイスブック閲覧状況(いいね数)	—	122	211	319
11 むさしの環境フェスタ来場者数(約)	1,500	3,000	4,000	4,000
14 武蔵野市クリーンセンター運営協議会環境イベント来場者数	36	360	300	350
15 ごみ減量協働事業相談業務相談件数	219	367	365	397
19 子育てフェスティバル来場者数	—	—	809	842
31 【プレイス】市民活動支援事業参加者数(延べ)	229	429	544	469
32 【プレイス】市民活動支援事業定員充足率(%)	53.4	63.4	73.7	73.2
33 【プレイス】市民活動支援事業満足度・お役立ち度(満足・やや満足の割合)(%)	81	84	86.7	88.1

34	【プレイス】フェイスブック閲覧状況(いいね数)	—	224	633	929
43	【市民社協】ボランティアセンター武蔵野活動会員登録数(個人)	374	445	510	573
44	【市民社協】ボランティアセンター武蔵野活動会員登録数(団体)	71	81	88	92

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する実施主体による自己評価

市、武蔵野プレイス、市民社協において、様々な情報提供に資する事業が展開されており、参考指標についても安定して推移している。今後は、市、武蔵野プレイス、市民社協、市民活動団体がそれぞれ発信している情報を集約した武蔵野市の市民活動を網羅した情報発信の手法を検討したい。

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する市民活動推進委員会による評価及び意見

市が行っているツイッターやフェイスブック等の広報活動において、市民活動がどれだけ紹介されていて、どのくらい市民に届いているか、またその質がどうかということを検証するシステムの構築が必要である。また、市民活動団体の活動に対する広報支援の強化も必要である。

基本施策2：市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実

2-1. 情報提供の充実

基本施策	2 市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実
施策	1 情報提供の充実
施策の目標	市民活動の多様性とステージに応じた情報提供を充実し、活動の活性化と団体の自律・自立を促す
取り組み事例	① 団体運営に必要な情報提供の充実 ② 民間の助成金や融資制度に関する情報提供の充実 ③ 市民活動団体の情報発信体制の拡充 ④ 市民活動に関する情報交流サイトの運営・充実

★上記施策に関係する事業の実施状況

事業名称	各年度の実施の有無			
	24	25	26	27
3 むさしのヒューマン・ネットワークセンター事業	○	○	○	○
4 男女共同参画週間事業	—	○	○	○
6 市民活動促進事業	○	○	○	—
8 地域貢献活動推進事業	○	○	○	○
12 むさしの環境フェスタ	○	○	○	○
17 武蔵野クリーンセンター運営協議会環境イベント	○	○	○	○
18 ごみ減量協働事業	○	○	○	○
24 子育てフェスティバル	—	—	○	○
38 【プレイス】ニュースレター発行	○	○	○	○
39 【プレイス】市民活動情報コーナー	○	○	○	○
41 【プレイス】市民活動マネジメント講座	○	○	○	○
44 【プレイス】市民活動の森	—	—	—	○
45 【プレイス】市民活動学校	—	○	○	○
46 【プレイス】情報ステーションの運営	○	○	○	○
52 【市民社協】広報紙発行(ふれあい、VCM通信)	○	○	○	○
57 【市民社協】テンミリオンハウス起業・運営支援事業	○	○	○	○

★参考指標

項目	各年度の状況			
	24	25	26	27
2 むさしのヒューマンネットワーク事業来場者数(延べ)	302	330	343	342
3 男女共同参画週間事業来場者数(延べ)	—	254	734	610
5 市民活動促進事業参加者数(延べ)	550	345	345	—
7 地域貢献活動推進事業参加者数(延べ)	77	119	73	137
8 市民活動かわら版フェイスブック閲覧状況(いいね数)	—	122	211	319
11 むさしの環境フェスタ来場者数(約)	1,500	3,000	4,000	4,000
14 武蔵野市クリーンセンター運営協議会環境イベント来場者数	36	360	300	350
15 ごみ減量協働事業相談業務相談件数	219	367	365	397
19 子育てフェスティバル来場者数	—	—	809	842
31 【プレイス】市民活動支援事業参加者数(延べ)	229	429	544	469
32 【プレイス】市民活動支援事業定員充足率(%)	53.4	63.4	73.7	73.2

33	【プレイス】市民活動支援事業満足度・お役立ち度（満足・やや満足の割合）（％）	81	84	86.7	88.1
34	【プレイス】フェイスブック閲覧状況（いいね数）	—	224	633	929
37	【プレイス】登録市民活動団体数	270	326	368	324
38	【プレイス】新規登録市民活動団体数	61	56	42	67

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する実施主体による自己評価

市、武蔵野プレイス、市民社協それぞれにおいて情報発信は行われており、参考指標についても安定し推移している。今後、更なる情報の充実を図るため、「想い醸成」「活動萌芽」「活動実践」等、団体の活動ステージに合わせた支援情報の充実、民間の助成金や融資制度等資金調達のための情報提供を行っていく。

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する市民活動推進委員会による評価及び意見

市民活動団体の活動ステージに合わせ、必要なスキルを向上させるためのピンポイントなニーズに対応できる情報や講習会などの提供が必要である。また、市民活動の広報活動について、マーケティングなどの企業経営の視点を取り入れた情報提供やセミナーを検討すべきである。

2-2. 相談体制の充実

基本施策	2 市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実			
施策	2 相談体制の拡充			
施策の目標	団体運営や事業内容等に関する相談に対応する体制を整えることにより、市民活動を進める中で発生する様々な課題解決を支援する			
取り組み事例	① 法人設立相談体制の充実 ② 武蔵野プレイスを活用した市民活動の相談体制の充実			

★上記施策に関係する事業の実施状況

事業名称	各年度の実施の有無			
	24	25	26	27
40 【プレイス】相談事業	○	○	○	○
41 【プレイス】市民活動マネジメント講座	○	○	○	○
57 【市民社協】テンミリオンハウス起業・運営支援事業(市委託)	○	○	○	○
58 【市民社協】施設ボランティアコーディネーター研修	○	○	○	○
59 【市民社協】ボランティアコーディネート	○	○	○	○

★参考指標

項目	各年度の状況			
	24	25	26	27
36 【プレイス】相談受付件数	83	32	29	13
43 【市民社協】ボランティアセンター武蔵野活動会員登録数(個人)	374	445	510	573
44 【市民社協】ボランティアセンター武蔵野活動会員登録数(団体)	71	81	88	92
45 【市民社協】ボランティアセンター武蔵野ボランティア依頼受付件数	187	220	251	186

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する実施主体による自己評価

市については武蔵野プレイスに相談業務を移行した経緯があり、現状対応する事業がないが、武蔵野プレイス、市民社協については、相談に対応する体制が構築されている。参考指標によると、武蔵野プレイスの相談件数は年々減少しており、今後、相談業務を行っていることを広く周知する必要があると思われる。
--

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する市民活動推進委員会による評価及び意見

市民活動団体の成熟により、相談件数が少なくなっているという側面はある。今後は、相談窓口のPR及び相談しやすい環境づくりが必要である。また、気軽に行ける相談場所として、市役所やコミセン等への相談窓口の設置及び関係機関のネットワーク化や巡回コーディネーターの設置、民生委員の活用などを検討することも必要である。

2-3. 財政的な支援

基本施策	2 市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実
施策	3 財政的な支援
施策の目標	補助金制度等により、団体の財政的な自律・自立を促す
取り組み事例	① 補助金制度の見直しと改善 ② 法人運営にかかる税制の優遇 ③ 認定NPO法人に対する優遇制度の検討と導入

★上記施策に関する事業の実施状況

事業名称	各年度の実施の有無			
	24	25	26	27
5 男女共同参画推進団体活動補助事業	○	○	○	○
7 特定非営利活動法人補助金交付事業	○	○	○	○
14 武蔵野市緑ボランティア団体事業助成	○	○	○	○
23 まちぐるみ子育て応援事業	—	○	○	○
28 良質な住まいづくり活動助成事業	○	○	○	○
31 生涯学習事業プロポーザル	○	—	○	○
32 武蔵野市子どもスポーツ団体支援事業費補助金事業	—	—	○	○
60 【市民社協】ボランティア・地域福祉活動助成	○	○	○	○

★参考指標

項目	各年度の状況			
	24	25	26	27
4 男女共同参画推進団体活動補助事業交付団体数	8	6	6	7
6 NPO法人補助金交付団体数	16	15	14	17
12 武蔵野市緑ボランティア団体事業助成交付団体数	21	24	24	25
23 良質な住まいづくり活動助成事業交付団体数	3	3	3	3
25 生涯学習事業プロポーザル採用団体数	1	—	1	1
26 武蔵野市子どもスポーツ団体支援事業費補助金事業交付団体数	—	—	2	5
42 【市民社協】市民社協ボランティア・地域活動助成金交付事業数	34	35	39	33

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する実施主体による自己評価

一定の事業は行われているが、市民活動の多様性に合わせて、様々な分野において、更なる事業の実施が必要である。また、武蔵野プレイスでは行われているが、市の補助金以外の民間の助成金等の資金調達手段の情報提供の充実も必要である。

補助金制度は、法人・団体の成長・発展のための事業であり、団体にとって補助金利用が常態化しないように、補助金のあり方について、見直しが必要である。

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する市民活動推進委員会による評価及び意見

事業実施側の事業の目的によって、財政的な支援を主目的としていない事業についても、受ける市民活動団体からすると、資金調達の手段の一つであることから、団体側で選択可能な資金調達の情報提供を充実させることが必要である。

2-4. 市民活動に関する学びの機会の提供

基本施策	2 市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実
施策	4 市民活動に関する学びの機会の提供
施策の目標	市民活動や地域課題に関する学びの機会を提供することにより、団体の活動意欲や実践力の向上、組織の安定化を目指す
取り組み事例	① 組織運営・事業実践に係る力量の向上に向けた学びの機会の提供 ② 団体の成長につながるコミュニケーション技術を学ぶ機会の提供 ③ 情報発信力やアカウンタビリティ強化に向けた支援

★上記施策に係る事業の実施状況

事業名称	各年度の実施の有無			
	24	25	26	27
1 武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)	○	○	○	○
3 むさしのヒューマン・ネットワークセンター事業	○	○	○	○
4 男女共同参画週間事業	—	○	○	○
6 市民活動促進事業	○	○	○	—
11 避難所運営組織による避難所開設・運営訓練に対する支援事業	○	○	○	○
12 むさしの環境フェスタ	○	○	○	○
22 子育てひろばボランティア養成講座	—	○	○	○
25 中高生リーダー講習会	○	○	○	○
34 文庫活動助成事業	○	○	○	○
41 【プレイス】市民活動マネジメント講座	○	○	○	○
42 【プレイス】団体交流事業	○	○	○	○
43 【プレイス】市民活動団体企画講座	○	○	○	○
44 【プレイス】市民活動の森	—	—	—	○
45 【プレイス】市民活動学校	—	○	○	○
46 【プレイス】情報ステーションの運営	○	○	○	○
50 【市民社協】ボランティア育成事業	○	○	○	○
57 【市民社協】テンミリオンハウス起業・運営支援事業	○	○	○	○
58 【市民社協】施設ボランティアコーディネーター研修	○	○	○	○
59 【市民社協】大学間ネットワーク事業	○	○	○	○

★参考指標

項目	各年度の状況			
	24	25	26	27
1 武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)来場者数	223	109	133	173
2 むさしのヒューマンネットワーク事業来場者数(延べ)	302	330	343	342
3 男女共同参画週間事業来場者数(延べ)	—	254	734	610
5 市民活動促進事業参加者数(延べ)	550	345	345	—
11 むさしの環境フェスタ来場者数(約)	1,500	3,000	4,000	4,000
18 子育てひろばボランティア養成講座参加者数	24	57	38	54
20 中高生リーダー講習会登録者数	67	69	71	54
27 文庫活動助成事業講座・講演会参加者数(延べ)	82	43	68	80
31 【プレイス】市民活動支援事業参加者数(延べ)	229	429	544	469
32 【プレイス】市民活動支援事業定員充足率(%)	53.4	63.4	73.7	73.2
33 【プレイス】市民活動支援事業満足度・お役立ち度(満足・やや満足の割合)(%)	81	84	86.7	88.1

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する実施主体による自己評価

市、武蔵野プレイス、市民社協において、様々な事業が実施されている。今後も団体・法人の実践力の向上及び組織の安定化を図るため、武蔵野プレイスを中心に、団体のステージに合わせた支援を充実させることが必要である。

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する市民活動推進委員会による評価及び意見

自治体や地域に関する様々な問題を学ぶ講座が少ない。また、分野単体での学びの機会はあるが、地域課題を体系的に学ぶための機会がない。市民活動のノウハウを学ぶとともに、地域の課題について学ぶことにより、地域での活動につなげてもらうことが重要である。また、教養講座での学習を市民活動につなげるための仕掛けや、将来の市民活動の推進のため、中高生への意識付けも重要である。

2-5. 団体交流の促進

基本施策	2 市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実
施策	5 団体交流の促進
施策の目標	団体の相互交流による活動の活性化を促す
取り組み事例	① 市民活動団体同士の交流の機会の提供 ② 市民活動に関する情報交流サイトの運営・充実

★上記施策に係る事業の実施状況

事業名称	各年度の実施の有無			
	24	25	26	27
1 武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)	○	○	○	○
3 むさしのヒューマン・ネットワークセンター事業	○	○	○	○
4 男女共同参画週間事業	—	○	○	○
6 市民活動促進事業	○	○	○	—
8 地域貢献活動推進事業	○	○	○	○
12 むさしの環境フェスタ	○	○	○	○
17 武蔵野クリーンセンター運営協議会環境イベント	○	○	○	○
29 サイエンスフェスタ	○	○	○	○
37 【プレイス】講演会	○	○	○	○
42 【プレイス】団体交流事業	○	○	○	○
43 【プレイス】市民活動団体企画講座	○	○	○	○
45 【プレイス】市民活動学校	—	○	○	○
46 【プレイス】情報ステーションの運営	○	○	○	○
48 【プレイス】市民活動フロア懇談会	○	○	○	○
53 【市民社協】お父さんお帰らないパーティ	○	○	○	○
58 【市民社協】施設ボランティアコーディネーター研修	○	○	○	○
60 【市民社協】ボランティア・市民活動団体助成	○	○	○	○
63 【市民社協】大学間ネットワーク事業	○	○	○	○

★参考指標

項目	各年度の状況			
	24	25	26	27
1 武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)来場者数	223	109	133	173
2 むさしのヒューマンネットワーク事業来場者数(延べ)	302	330	343	342
3 男女共同参画週間事業来場者数(延べ)	—	254	734	610
5 市民活動促進事業参加者数(延べ)	550	345	345	—
7 地域貢献活動推進事業参加者数(延べ)	77	119	73	137
11 むさしの環境フェスタ来場者数(約)	1,500	3,000	4,000	4,000
14 武蔵野市クリーンセンター運営協議会環境イベント来場者数	36	360	300	350
24 サイエンスフェスタ来場者数	959	1,100	952	1,600
31 【プレイス】市民活動支援事業参加者数(延べ)	229	429	544	469
32 【プレイス】市民活動支援事業定員充足率(%)	53.4	63.4	73.7	73.2
33 【プレイス】市民活動支援事業満足度・お役立ち度(満足・やや満足の割合)(%)	81	84	86.7	88.1

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する実施主体による自己評価

市、武蔵野プレイス、市民社協ともに様々な事業を実施しており、団体間の交流を促進しているが、今後は、他分野の市民活動団体との交流を促進するたまたにも、様々な団体・法人の交流が図れる場の構築が必要である。

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する市民活動推進委員会による評価及び意見

他の団体と交流することは、交流すること自体が目的ではなく、交流することによって団体にとって有益な情報が得られることが重要である。目的を明確にしたうえで、交流を行うことにより、団体の交流及び活動の促進を図る必要がある。

2-6. 中間支援組織等の支援力の強化

基本施策	2 市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実
施策	6 中間支援組織等の支援力の強化
施策の目標	中間支援組織等の支援力強化により、活動の活性化と団体の自律・自立を目指す
取り組み事例	① 中間支援組織の支援力強化に向けた取り組み ② 協働コーディネーターの育成

★上記施策に関係する事業の実施状況

事業名称	各年度の実施の有無			
	24	25	26	27
1 武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)	○	○	○	○
3 むさしのヒューマン・ネットワークセンター事業	○	○	○	○
4 男女共同参画週間事業	—	○	○	○
6 市民活動促進事業	○	○	○	—
8 地域貢献活動推進事業	○	○	○	○
12 むさしの環境フェスタ	○	○	○	○
17 武蔵野クリーンセンター運営協議会環境イベント	○	○	○	○
29 サイエンスフェスタ	○	○	○	○
37 【プレイス】講演会	○	○	○	○
42 【プレイス】団体交流事業	○	○	○	○
43 【プレイス】市民活動団体企画講座	○	○	○	○
45 【プレイス】市民活動学校	—	—	—	○
46 【プレイス】情報ステーションの運営	○	○	○	○
48 【プレイス】市民活動フロア懇談会	○	○	○	○
58 【市民社協】施設ボランティアコーディネーター研修	○	○	○	○
62 【市民社協】地域福祉ファンリレーター養成講座	○	○	○	○

★参考指標

項目	各年度の状況			
	24	25	26	27
1 武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)来場者数	223	109	133	173
2 むさしのヒューマンネットワーク事業来場者数(延べ)	302	330	343	342
3 男女共同参画週間事業来場者数(延べ)	—	254	734	610
5 市民活動促進事業参加者数(延べ)	550	345	345	—
7 地域貢献活動推進事業参加者数(延べ)	77	119	73	137
11 むさしの環境フェスタ来場者数(約)	1,500	3,000	4,000	4,000
14 武蔵野市クリーンセンター運営協議会環境イベント来場者数	36	360	300	350
24 サイエンスフェスタ来場者数	959	1,100	952	1,600
31 【プレイス】市民活動支援事業参加者数(延べ)	229	429	544	469
32 【プレイス】市民活動支援事業定員充足率(%)	53.4	63.4	73.7	73.2
33 【プレイス】市民活動支援事業満足度・お役立ち度(満足・やや満足の割合)(%)	81	84	86.7	88.1
36 【プレイス】相談受付件数	83	32	29	13
45 【市民社協】ボランティアセンター武蔵野ボランティア依頼受付件数	187	220	251	186

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する実施主体による自己評価

市民活動団体との協働による事業実施により、団体同士のネットワークづくりなどは行われているが、地域・企業との交流が⁶少ない状況である。今後、市、武蔵野プレイス、市民社協の役割の明確化するとともに、市民活動団体と、地域・企業等とのパートナーシップ締結のための支援及びコーディネーターの育成支援が必要である。

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する市民活動推進委員会による評価及び意見

市、武蔵野プレイス、市民社協の中間支援組織としての機能を強化していくとともに、NPOとしての中間支援組織の確立も今後の課題である。また、コミュニティ協議会における中間支援的役割にも期待したい。

基本施策３：市民活動の場の活用促進

3-1. 武蔵野プレイスの有効活用

基本施策	3 市民活動の場の活用促進
施策	1 武蔵野プレイスの有効活用
施策の目標	「武蔵野プレイス」という活動の場を確保し、多様で自由な市民活動をサポートする
取り組み事例	① 武蔵野プレイスにおけるコーディネート機能の強化 ② 武蔵野プレイスを活用した市民活動の相談体制の充実 ③ 多様な市民活動にアクセス可能な情報収集・発信 ④ 市民活動に対する理解促進のための講座等の企画・実施 ⑤ 市民活動団体同士の交流の機会の提供

★上記施策に係る事業の実施状況

事業名称	各年度の実施の有無			
	24	25	26	27
1 武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)	○	○	○	○
2 平和啓発事業	○	○	○	○
4 男女共同参画週間事業	—	○	○	○
6 市民活動促進事業	○	○	○	—
7 特定非営利活動法人補助金交付事業	○	○	○	○
12 むさしの環境フェスタ	○	○	○	○
20 引きこもりサポート事業	○	○	○	○
30 ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイスの管理運営	○	○	○	○
33 おはなし会	○	○	○	○
36 【プレイス】市活人展	○	○	○	○
37 【プレイス】講演会	○	○	○	○
38 【プレイス】ニューズレター発行	○	○	○	○
39 【プレイス】市民活動情報コーナー	○	○	○	○
40 【プレイス】相談事業	○	○	○	○
41 【プレイス】市民活動マネジメント講座	○	○	○	○
42 【プレイス】団体交流事業	○	○	○	○
43 【プレイス】市民活動団体企画講座	○	○	○	○
44 【プレイス】市民活動の森	—	—	—	○
45 【プレイス】市民活動学校	—	○	○	○
46 【プレイス】情報ステーションの運営	○	○	○	○
47 【プレイス】市民活動フロア運営	○	○	○	○
48 【プレイス】市民活動フロア懇談会	○	○	○	○
49 【プレイス】市民活動フロア運営協議会	○	○	○	○

★参考指標

項目	各年度の状況			
	24	25	26	27
1 武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)来場者数	223	109	133	173
3 男女共同参画週間事業来場者数(延べ)	—	254	734	610
5 市民活動促進事業参加者数(延べ)	550	345	345	—

6	NPO法人補助金交付団体数	16	15	14	17
11	むさしの環境フェスタ来場者数(約)	1,500	3,000	4,000	4,000
31	【プレイス】市民活動支援事業参加者数(延べ)	229	429	544	469
32	【プレイス】市民活動支援事業定員充足率(%)	53.4	63.4	73.7	73.2
33	【プレイス】市民活動支援事業満足度・お役立ち度(満足・やや満足の割合)(%)	81	84	86.7	88.1
34	【プレイス】フェイスブック閲覧状況(いいね数)	—	224	633	929
35	【プレイス】ワークラウンジポスター掲示件数	—	258	336	342
36	【プレイス】相談受付件数	83	32	29	13
37	【プレイス】登録市民活動団体数	270	326	368	324
38	【プレイス】新規登録市民活動団体数	61	56	42	67
39	【プレイス】市民活動フロア利用者数	808	925	1,038	932
40	【プレイス】チラシ設置件数	—	316	401	428
41	【プレイス】貸出施設平均利用率	65.3	69.2	69	62.7

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する実施主体による自己評価

武蔵野プレイスを活用した事業は多く行われており、市民活動団体の登録数なども安定して推移している。今後さらに、人・物・情報の集約を図り、本市の市民活動の拠点として、市民活動団体に対しさらなる有効活用を促す必要がある。

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する市民活動推進委員会による評価及び意見

武蔵野プレイスの個人利用者をどのように市民活動につなげていくかが今後の課題である。また、武蔵野プレイスの市民活動支援機能を強化することにより、市民活動団体の有効利用を促進し、市民活動の活性化を図る必要がある。

3-2. 多様な活動の場の提供

基本施策	3 市民活動の場の活用促進																												
施策	2 多様な活動の場の提供																												
施策の目標	活動の場とその関連情報等を提供し、多様で自由な市民活動をサポートする																												
取り組み事例	① 市民活動団体が利用可能な公共施設等についての情報発信 ② 多様な施設等の有効活用のための情報提供																												
★上記施策に関係する事業の実施状況																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">事業名称</th> <th colspan="4">各年度の実施の有無</th> </tr> <tr> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> <th>27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>緑ボランティア団体との共催・支援イベント事業</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>子育てひろばボランティア養成講座</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>まちぐるみ子育て応援事業</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		事業名称		各年度の実施の有無				24	25	26	27	15	緑ボランティア団体との共催・支援イベント事業	○	○	○	○	22	子育てひろばボランティア養成講座	—	○	○	○	23	まちぐるみ子育て応援事業	—	○	○	○
事業名称				各年度の実施の有無																									
		24	25	26	27																								
15	緑ボランティア団体との共催・支援イベント事業	○	○	○	○																								
22	子育てひろばボランティア養成講座	—	○	○	○																								
23	まちぐるみ子育て応援事業	—	○	○	○																								
★参考指標																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">項目</th> <th colspan="4">各年度の状況</th> </tr> <tr> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> <th>27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>16コミセン年間平均利用者数</td> <td>3,445</td> <td>3,565</td> <td>3,421</td> <td>3,320</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>子育てひろばボランティア養成講座参加者数</td> <td>24</td> <td>57</td> <td>38</td> <td>54</td> </tr> </tbody> </table>		項目		各年度の状況				24	25	26	27	10	16コミセン年間平均利用者数	3,445	3,565	3,421	3,320	18	子育てひろばボランティア養成講座参加者数	24	57	38	54						
項目				各年度の状況																									
		24	25	26	27																								
10	16コミセン年間平均利用者数	3,445	3,565	3,421	3,320																								
18	子育てひろばボランティア養成講座参加者数	24	57	38	54																								
★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する実施主体による自己評価																													
市、武蔵野プレイス、市民社協の実施している事業については、事業実施数が少ないため、今後、特にコミュニティセンターは、地域の身近な活動の場として、更なる活用が必要である。また、公共施設以外の利用可能な施設・活動の場についても、情報の集約・提供が必要である。																													
★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する市民活動推進委員会による評価及び意見																													
公共施設と合わせて、民間の利用可能な施設の情報提供が必要である。また活動内容によって、利用が難しい施設もあることから、活動の内容に応じた施設の情報提供が必要である。																													

基本施策4：課題解決のための「連携と協働」の推進

4-1. 連携と協働に向けたネットワークの構築

基本施策	4 課題解決のための「連携と協働」の推進
施策	1 連携と協働に向けたネットワークの構築
施策の目標	多様な取り組みの担い手による連携と協働を推進する
取り組み事例	① 協働事業提案制度の検証及び見直し ② 企業・大学等と市民活動団体との協働に関する相談・情報提供の実施 ③ 協働コーディネーターの育成・導入

★上記施策に係る事業の実施状況

事業名称	各年度の実施の有無			
	24	25	26	27
1 武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)	○	○	○	○
4 男女共同参画週間事業	—	○	○	○
11 避難所運営組織による避難所開設・運営訓練に対する支援事業	○	○	○	○
12 むさしの環境フェスタ	○	○	○	○
18 武蔵野クリーンセンター運営協議会環境イベント	○	○	○	○
23 まちぐるみ子育て応援事業	—	○	○	○
24 子育てフェスティバル	—	—	○	○
26 青少年問題協議会・地区活動事業	○	○	○	○
27 武蔵境ピクニック	○	○	○	○
29 サイエンスフェスタ	○	○	○	○
35 成蹊大学・亜細亜大学との包括連携協定	—	—	○	○
62 【市民社協】地域福祉ファシリテーター養成講座	○	○	○	○
63 【市民社協】大学間ネットワーク事業	○	○	○	○

★参考指標

項目	各年度の状況			
	24	25	26	27
1 武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)来場者数	223	109	133	173
3 男女共同参画週間事業来場者数(延べ)	—	254	734	610
11 むさしの環境フェスタ来場者数(約)	1,500	3,000	4,000	4,000
14 武蔵野市クリーンセンター運営協議会環境イベント来場者数	36	360	300	350
19 子育てフェスティバル来場者数	—	—	809	842
21 青少年問題協議会地区委員数	1,422	1,461	1,436	1,445
22 武蔵境ピクニック来場者数	6,000	7,000	7,500	8,000
24 サイエンスフェスタ来場者数	959	1,100	952	1,600
28 外部団体と協働等により事業を実施した部署の数	24	24	26	26
29 外部団体と協働等により実施した事業の数	98	94	105	108
30 事業の協働等の相手の数(延べ)	274	284	314	306

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する実施主体による自己評価

市、武蔵野ブレイス、市民社協の実施している事業について、市民活動団体と大学等との協働は行われているが、地域企業との協働の実績が少ない。今後、地域企業と市民活動団体との協働の活性化のための、コーディネーターの育成や情報の提供が必要である。

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する市民活動推進委員会による評価及び意見

市民活動団体同士のつながりと合わせて、市民活動団体、企業、大学、コミュニティ協議会といった異なるセクターとの更なる連携・協働を推進し、地域の活性化を図っていく必要がある。

4-2. 連携と協働に向けた庁内体制の構築

基本施策	4 課題解決のための「連携と協働」の推進
施策	2 連携と協働に向けた庁内体制の構築
施策の目標	市の協働推進の体制を整備し、ルールの明確化と職員の理解促進を目指す
取り組み事例	① 協働のルールづくり ② 協働の意識と手法の定着に向けた職員研修の検討・実施 ③ 協働に関する情報提供の充実 ④ 協働事業専門窓口の整備・確立 ⑤ 市民活動団体とのコミュニケーション充実

★上記施策に関係する事業の実施状況

事業名称		各年度の実施の有無			
		24	25	26	27
9	職員向けコーディネート力向上研修	—	○	—	○

★参考指標

項目		各年度の状況			
		24	25	26	27
28	外部団体と協働等により事業を実施した部署の数	24	24	26	26
29	外部団体と協働等により実施した事業の数	98	94	105	108
30	事業の協働等の相手の数(延べ)	274	284	314	306

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する実施主体による自己評価

市民活動団体等との協働事業数については、毎年安定して推移しているが、今後更なる協働事業実施のため、職員研修の実施、各部課の情報のとりまとめと発信、市民活動団体や各部課に関する総合的な支援を行う組織体制の構築が必要である。

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する市民活動推進委員会による評価及び意見

施策の目的ごとに庁内組織があり、連携が弱い点は、今後の課題である。また、各部課がそれぞれ所管している事業であつても、地域ではいつも同じ市民が活動しているという状況も課題となっている。

2 上記施策に関する事業の実施状況一覧

事業名称		各年度の実施の有無			
		24	25	26	27
1 武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)		○	○	○	○
2 平和啓発事業		○	○	○	○
3 むさしのヒューマン・ネットワークセンター事業		○	○	○	○
4 男女共同参画週間事業		—	○	○	○
5 男女共同参画推進団体活動補助事業		○	○	○	○
6 市民活動促進事業		○	○	○	—
7 特定非営利活動法人補助金交付事業		○	○	○	○
8 地域貢献活動推進事業		○	○	○	○
9 職員向けコーディネート力向上研修		—	○	—	○
10 国際交流協会事業補助		○	○	○	○
11 避難所運営組織による避難所開設・運営訓練に対する支援事業		○	○	○	○
12 むさしの環境フェスタ		○	○	○	○
13 地域猫対策協働事業		○	○	○	○
14 武蔵野市緑ボランティア団体事業助成		○	○	○	○
15 緑ボランティア団体との共催・支援イベント事業		○	○	○	○
16 新クリーンセンターオープンハウス		—	—	○	—
17 武蔵野クリーンセンター運営協議会環境イベント		○	○	○	○
18 ごみ減量協働事業		○	○	○	○
19 高齢者食事学事業		—	—	○	○
20 引きこもりサポート事業		○	○	○	○
21 子育て支援講習会		○	○	○	○
22 子育てひろばボランティア養成講座		—	○	○	○
23 まちぐるみ子育て応援事業		—	○	○	○
24 子育てフェスティバル		—	—	○	○
25 中高生リーダー講習会		○	○	○	○
26 青少年問題協議会・地区活動事業		○	○	○	○
27 武蔵境ピクニック		○	○	○	○
28 良質な住まいづくり活動助成事業		○	○	○	○
29 サイエンスフェスタ		○	○	○	○
30 ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイスの管理運営		○	○	○	○
31 生涯学習事業プロポーザル		○	—	○	○
32 武蔵野市子どもスポーツ団体支援事業費補助金事業		—	—	○	○
33 おはなし会		○	○	○	○
34 文庫活動助成事業		○	○	○	○
35 成蹊大学・亜細亜大学との包括連携協定		—	—	○	○
36 【プレイス】市活人展		○	○	○	○
37 【プレイス】講演会		○	○	○	○
38 【プレイス】ニューズレター発行		○	○	○	○
39 【プレイス】市民活動情報コーナー		○	○	○	○
40 【プレイス】相談事業		○	○	○	○
41 【プレイス】市民活動マネジメント講座		○	○	○	○
42 【プレイス】団体交流事業		○	○	○	○
43 【プレイス】市民活動団体企画講座		○	○	○	○
44 【プレイス】市民活動の森		—	—	—	○
45 【プレイス】市民活動学校		—	○	○	○
46 【プレイス】情報ステーションの運営		○	○	○	○
47 【プレイス】市民活動フロア運営		○	○	○	○
48 【プレイス】市民活動フロア懇談会		○	○	○	○
49 【プレイス】市民活動フロア運営協議会		○	○	○	○
50 【市民社協】ボランティア育成事業		○	○	○	○
51 【市民社協】心のバリアフリー啓発事業		○	○	○	○
52 【市民社協】広報紙発行(ふれあい、VCM通信)		○	○	○	○
53 【市民社協】お父さんお帰らないさーパーティー		○	○	○	○
54 【市民社協】お父さんお帰らないさーサロン		○	○	○	○
55 【市民社協】夏! 体験ボランティア		○	○	○	○

56	【市民社協】入門講座	○	○	○	○
57	【市民社協】テンミリオンハウス起業・運営支援事業(市委託)	○	○	○	○
58	【市民社協】施設ボランティアコーディネーター研修	○	○	○	○
59	【市民社協】ボランティアコーディネート	○	○	○	○
60	【市民社協】ボランティア・地域福祉活動助成	○	○	○	○
61	【市民社協】協働講座	○	○	○	○
62	【市民社協】地域福祉ファシリテーター養成講座	○	○	○	○
63	【市民社協】大学間ネットワーク事業	○	○	○	○

3 参考指標一覧

項 目	各年度の状況			
	24	25	26	27
1 武蔵野市消費生活展(くらしフェスタ)来場者数	223	109	133	173
2 むさしのヒューマンネットワーク事業来場者数(延べ)	302	330	343	342
3 男女共同参画週間事業来場者数(延べ)	—	254	734	610
4 男女共同参画推進団体活動補助事業交付団体数	8	6	6	7
5 市民活動促進事業参加者数(延べ)	550	345	345	—
6 NPO法人補助金交付団体数	16	15	14	17
7 地域貢献活動推進事業参加者数(延べ)	77	119	73	137
8 市民活動かわら版フェイスブック閲覧状況(いいね数)	—	122	211	319
9 職員向けコーディネート向上研修参加者数	—	29	—	20
10 16コミセン年間平均利用者数	3,445	3,565	3,421	3,320
11 むさしの環境フェスタ来場者数(約)	1,500	3,000	4,000	4,000
12 武蔵野市緑ボランティア団体事業助成交付団体数	21	24	24	25
13 新クリーンセンターオープンハウスイベント来場者数	—	—	700	—
14 武蔵野市クリーンセンター運営協議会環境イベント来場者数	36	360	300	350
15 ごみ減量協働事業相談業務相談件数	219	367	365	397
16 高齢者食事学事業参加者数(延べ)	479	416	408	798
17 子育て支援講習会講座参加者数	40	40	46	32
18 子育てひろばボランティア養成講座参加者数	24	57	38	54
19 子育てフェスティバル来場者数	—	—	809	842
20 中高生リーダー講習会登録者数	67	69	71	54
21 青少年問題協議会地区委員数	1,422	1,461	1,436	1,445
22 武蔵境ピクニック来場者数	6,000	7,000	7,500	8,000
23 良質な住まいづくり活動助成事業交付団体数	3	3	3	3
24 サイエンスフェスタ来場者数	959	1,100	952	1,600
25 生涯学習事業プロポーザル採用団体数	1	—	1	1
26 武蔵野市子どもスポーツ団体支援事業費補助金事業交付団体数	—	—	2	5
27 文庫活動助成事業講座・講演会参加者数(延べ)	82	43	68	80
28 外部団体と協働等により事業を実施した部署の数	24	24	26	26
29 外部団体と協働等により実施した事業の数	98	94	105	108
30 事業の協働等の相手の数(延べ)	274	284	314	306
31 【プレイス】市民活動支援事業参加者数(延べ)	229	429	544	469
32 【プレイス】市民活動支援事業定員充足率(%)	53.4	63.4	73.7	73.2
33 【プレイス】市民活動支援事業満足度・お役立ち度(満足・やや満足の割合)(%)	81	84	86.7	88.1
34 【プレイス】フェイスブック閲覧状況(いいね数)	—	224	633	929
35 【プレイス】ワークラウンジポスター掲示件数	—	258	336	342
36 【プレイス】相談受付件数	83	32	29	13
37 【プレイス】登録市民活動団体数	270	326	368	324
38 【プレイス】新規登録市民活動団体数	61	56	42	67
39 【プレイス】市民活動フロア利用者数	808	925	1,038	932
40 【プレイス】チラシ設置件数	—	316	401	428
41 【プレイス】貸出施設平均利用率(%)	65.3	69.2	69	62.7
42 【市民社協】市民社協ボランティア・地域活動助成金交付事業数	34	35	39	33
43 【市民社協】ボランティアセンター武蔵野活動会員登録数(個人)	374	445	510	573
44 【市民社協】ボランティアセンター武蔵野活動会員登録数(団体)	71	81	88	92
45 【市民社協】ボランティアセンター武蔵野ボランティア依頼受付件数	187	220	251	186

4 活動のステージの具体的なイメージ

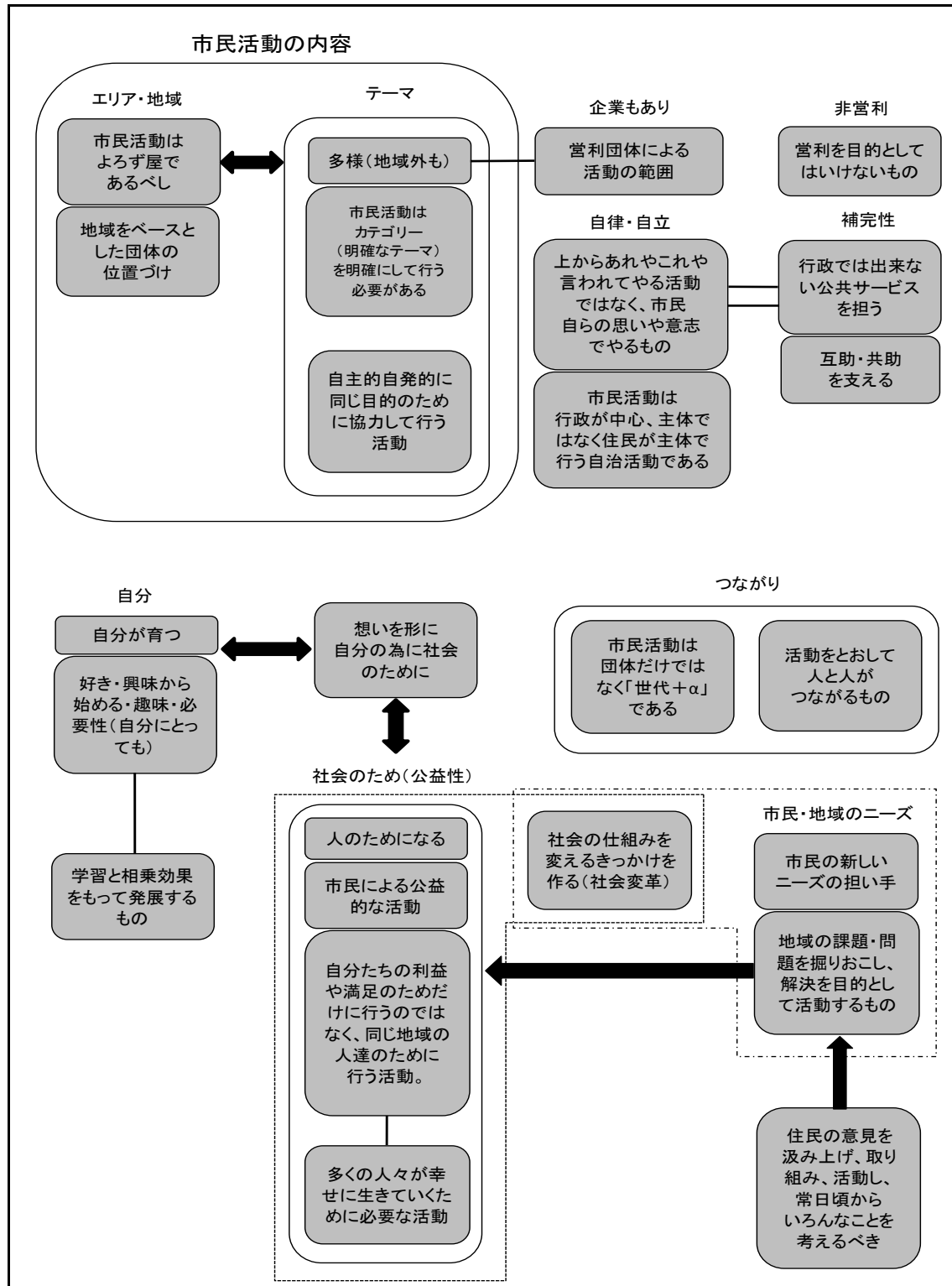
「Ⅲ.1-4. 市民活動のステージ」で示した各ステージの具体的なイメージは以下の内容となります。

想い醸成	何らかの社会的な課題について認識が生まれている状態。 目に見える具体的なアクションが起こるわけではないが、個人、あるいは友人・知人等数名の間で社会的な課題が認識され、少しずつ問題意識が醸成されはじめる。
活動萌芽	具体的な活動を起こすべく準備を始めている状態。任意の参加者による小集団として徐々に活動が始動し、メンバー間で活動方針や取り組む課題領域、受益者層や活動の対象等について、議論が交わされることが多い。
活動実践	具体的なアクションを始めて、試行錯誤を繰り返しながら、ノウハウを少しずつ蓄積している状態。 実践の結果、参加者の目的意識や意思に応じて活動対象が特定されてゆく時期でもあるとともに、活動を通じて、他団体や他セクター（行政やマスコミ等）との関係性が生まれることもある。
成長・安定	実践を重ねながら参加者が次第に拡大していく傾向が一般的に見られる。また団体によっては、法人格の取得を行う例も多い（助成金申請等の際に形式要件が求められる例、銀行口座の開設等実務的な必要性に直面する例、組織内外から位置づけの確立を求められる例、等の理由が一般的）。代表者を決める、会員制度を作る、等団体としての要件を揃える中で、メンバー間の役割分担やステークホルダーとの関係の整理が進むことも多い。
展開	成長・安定期を経て、さらに活動を広げている状態。 地理的な広がり（他地域展開や水平展開）を見せる例、活動頻度や対象者数が拡大する例、活動を踏まえて発見された新たな社会的な課題に対応すべく展開する例等が考えられる。 まれにコアプレーヤー・メインプレーヤーの複数化により、組織自体が分化する等の例も見られる。 活動が大きく拡大するため、組織マネジメント面での課題を抱える傾向も強い 資金調達面やマンパワー、組織マネジメント等、活動を行う上での課題をもっとも強く感じている状態でもある。
継承・分化・終了	活動を他の団体に引き継いだり、活動の発展に伴って複数の団体に分化したり、活動そのものを終了している状態。

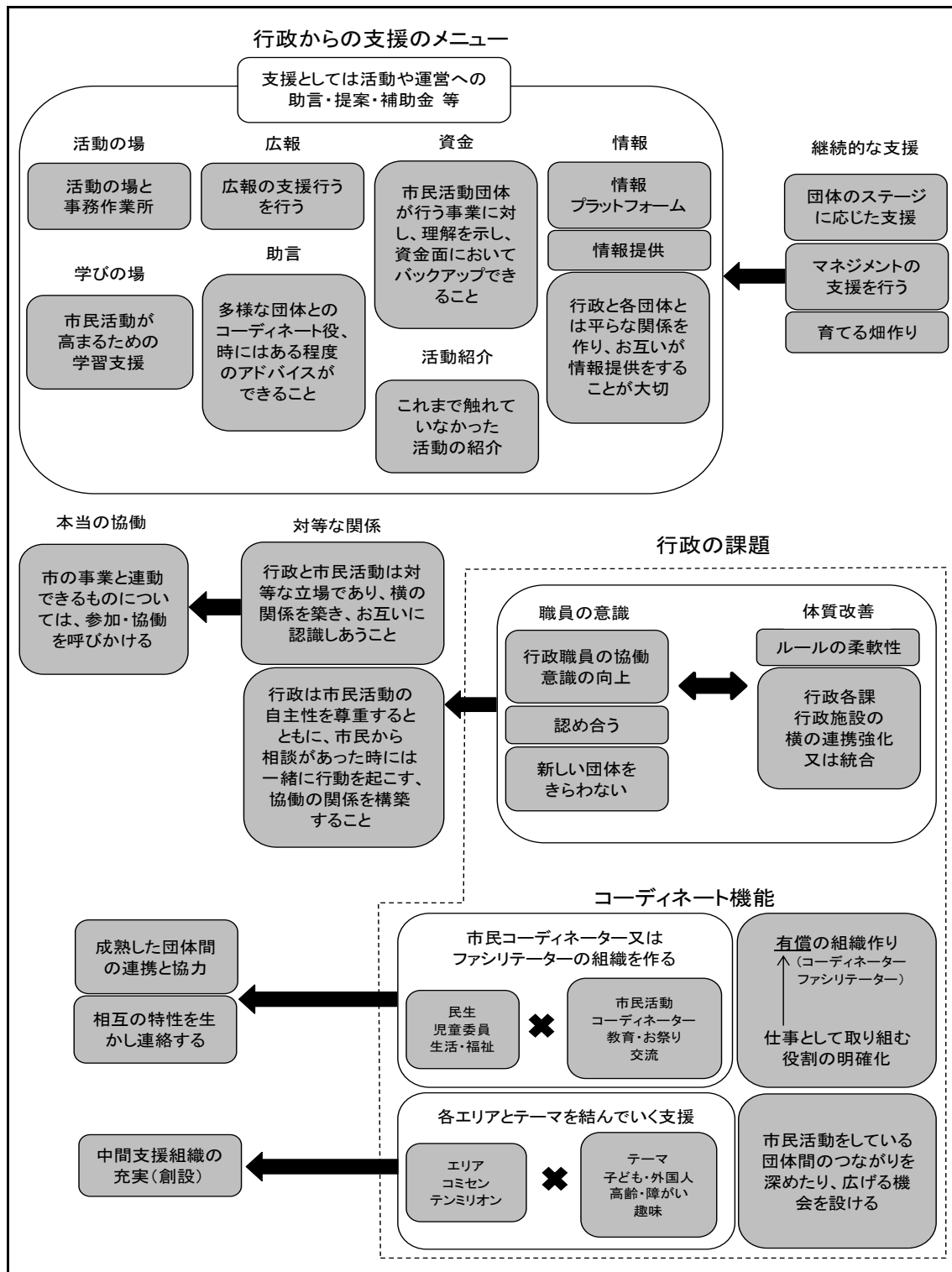
5 市民活動推進委員会におけるブレインストーミングによる成果物

第3回市民活動推進委員会において、委員の考え方を統一するために、「市民活動とは」「行政の望ましい支援及び多様な主体間の連携の可能性」という議題でブレインストーミングを行いました。ここでは、その結果を図表化しています。

市民活動とは



行政の望ましい支援及び多様な主体間の連携の可能性



6 市民意見・ニーズの把握

6-1. 実施概要

改定計画の策定過程において、「中間のまとめ」として取りまとめた計画案の概要に対し、広く市民からの意見を聴取し、計画策定に反映することを目的として、パブリックコメントを実施しました。実施概要は以下に示すとおりです。

【調査対象】

- ・ 広く一般市民（武蔵野市民に限定せず）

【調査方法】

- ・ 紙による意見記入用紙の配布・留置・回収、メールによる意見回収

【調査時期】

- ・ 平成 28 年 12 月 15 日～平成 29 年 1 月 6 日

【意見件数】

- ・ 5 名から延べ 45 件

6-2. 実施結果

中間のまとめに対するパブリックコメントの主な意見と市民活動推進委員会の対応方針は以下の通りです。

通番	意見要旨	対応方針
1	全体として、どれも大事な課題であり、具体策をどのようにしていくかが、大切だと思う。	「Ⅳ. 実施計画」において、計画後期の展開として、取り組むべき方向性について示しており、推進していくべきと考えます。
2	市職員の学習は大事である。それは、担当課だけが考えればいいというわけではなく、各分野で住民の自主的な活動に補助をしている事業は多数あると思う。また、ボランティア養成講座を実施している課もあると思うが、その養成と修了後の活動を支援する人が必要であり、全職員が市民活動について学ぶことが必要だと思う。	改定計画においても、市民と行政が一緒に学ぶ場の必要性について記載しており、実施計画 2-4 ③、4-2 ③「地域の課題を学ぶ機会の充実」において推進していくべきと考えます。
3	各課で養成したボランティア団体の活動立ち上げ後の支援を、職員が異動しても維持できるような仕組みが必要である。	2-4 ①「組織運営・事業実践に係る力量の向上に向けた学びの機会の提供」、②「団体の活動ステージに合わせた学びの機会の提供」において支援可能であると考えます。
4	計画で示している市民活動のステージは、目的に向かって進む健全な団体を想定したものであり、目的を見失ったり、目的に進めなくなったまま安定期に入ってしまった団体もある。そういった団体が、目的意識を持って活動できるようにする支援も必要である。	目的を見失ったり、目的に進めなくなったまま安定期に入ってしまった団体も、実施計画 2-4 ①「組織運営・事業実践に係る力量の向上に向けた学びの機会の提供」において、支援可能であると考えています。

5	団体を構成する人にもいろいろな人がいるので、市民活動の基礎、市民活動の心得を習得できる支援があるといいと思う。	実施計画 2-4 ①「組織運営・事業実践に係る力量の向上に向けた学びの機会の提供」及び 2-4 ②「団体の活動ステージに合わせた学びの機会の提供」において、支援を行っていく必要があると考えています。
6	「Ⅲ. 後期計画推進に向けた新たな方向性」の初めの文章がわかりづらいので、簡潔にした方がよいと思う。	全体についてわかりやすい表現にします。
7	P. 7 「1 市民活動に参加してもらう環境の創出」で、魅力よりも、悩み課題の方が先に書いてあり、文章も多いのは悲しい。	ご指摘のとおりであり、文章を変更しました。
8	P. 7 「1 市民活動に参加してもらう環境の創出」で、循環を作ることによって固定化・高齢化への対応はできそうだが、若い層に特化した創出も考えないといけないと思う。	子育て世代、在学、在勤者もターゲットとしたものであると考えており、その考えを反映しています。
9	P. 7 1-1「当事者性がある」という表現がわかりづらい。	全体についてわかりやすい表現にします。
10	P. 7 1-2 第一文「～できます。」は言い過ぎではないか。	ご指摘のとおりであり、文章を変更しました。
11	P. 7 1-2 の対象が、すでに何らかの形で活動している人たちしか想定されていない。活動への第一歩が一番ハードルが高いので、特に地域とのつながりが薄い人を呼び込む支援がよいと思う。	ご指摘のとおりであり、文章を変更しました。
12	P. 7 1-2 について、「循環づくり」と書いてあるので、「魅力の発信」を受けた人が、次の「魅力」になって発信されるということが読み取れるように書いた方がよいと思う。	「魅力発信により参加につなげる循環づくり」を「魅力発信により参加につなげる仕掛け」という表現に、文章を変更しました。
13	P. 7 1-2 既に活動している人の魅力を発信するとなっているが、活動していない人にも潜在的な魅力がある。仕事として当たり前に行っていることも他人から見たら面白いと思う。また、インターネットを通じて活動している方もいる。	ご意見として承ります。
14	P. 8 2-1 コーディネーターについて、社会から重要性が指摘されて、計画に盛り込むなら分かるが、本計画の実施計画に指摘されて計画に盛り込むという表現には違和感がある。また、現計画では「コーディネーターを育成します。」程度の書き込みで、重要性を指摘とまでは言えないのではないか。	ご指摘のとおりであり、文章を変更しました。

15	P. 8 2-3「コーディネーターに求められる力量」は、力量ではなく能力ではないのか。	力量は、能力の大きさや幅を示すものであり、学びなどにより、高めることができるという考え方から、本計画においては、力量という表現を使用しています。
16	P. 8 2-3「コーディネーターに求められる力量」として「やる気にさせる能力」は必要ないか。	求められる力量としてあげているコミュニケーション力や調整力に「やる気にさせる力」も含まれていると考えており、新たに記載しました。
17	P. 9 2-4「コーディネート機能を生かす仕組み」となっているが、記載されていることは、仕組みではないと思う。内容については、何書くかももう一度検討されてはいかがか。	ご指摘のとおりであり、文章を変更しました。
18	P. 2 1-2「多様な活動につながる情報の提供」について。広報は受け手があることで大変だと思う。市報は読まない、小学校の全戸配布プリントも見ないという人はたくさんいる。広報については市ももっと研究した方がよいと思う。また、P. 3 2-1「情報発信は行われており」と記載してあるが、情報は発信するのが目的なのか、伝えるのが目的なのか。伝えるのが目的であれば、伝わっていないければ、発信していないのと等価である。是非伝える広報をしてほしい。	1-2.「多様な活動につながる情報の提供」の達成状況の評価として、市民活動かわら版と武蔵野プレイスのフェイスブックを参考指標として項目化しました。その効果や有効性を検証し、より良い情報提供につなげる必要があると考えます。
19	P. 3 2-2「周知する必要がある」とあるが、いつまでにどれだけの人に知られればよいのか。	市民活動団体の成熟により、相談件数が少なくなっているという側面もあると考えておりますが、引き続き、相談窓口のPR及び相談しやすい環境づくりは必要であると考えます。
20	P. 4 2-5「交流することが目的ではなく」というのはその通りだと思う。交流による実りを何らかの形にするとよいと思う。	実施計画 2-5「交流の促進」により、市民活動団体同士の情報の交換・共有や異なるセクターとの交流を推進し、地域の活性化を促していくことが成果につながっていくと考えます。
21	P. 6 4-2「いつも同じ市民が・・・」というのはその通りだと思う。行政の文章でよく地域参加と書かれているが、実際は、地域の特定の人しか参加していない。市も充て職などで、いつもの人にならないよう注意する必要があると思う。	実施計画 1「市民活動の裾野の拡大」において、市民活動の参加につながるよう施策を進めていく必要があります。

22	さまざまな分野の市民活動の促進や推進の支援は、プレイスの大きな役割だと思うが、コミュニティ方式をとった武蔵野市では、コミュニティ協議会が担う地域を包括的に扱うコミュニティ活動をどう位置づけるか、究極は住んでいる地域をより暮らしやすくしていくために、個別の市民活動を、地域コミュニティ活動とどうつなぐかが大きな課題だと思う。	改定計画では、基本計画では触れていなかった、地域コミュニティにおけるコーディネート機能の必要性や、テーマ型市民活動と地域型市民活動の連携の必要性について記載しております。
23	学びについて、地域が求めているのは、会計や組織運営、広報などの実務というよりは、地域や暮らしをどう見るか（判断）課題発見の方法、課題共有の方法などではないか。	実施計画 2-4③、4-2③「地域の課題を学ぶ機会の充実」において地域の課題などを学ぶとともに、組織運営力も合わせて高めていくことが地域の市民活動の活性化につながると考えています。
24	連携と協働に向けた市内体制の構築は、行政が考えている以上に必要ことで、地域と行政間のすれ違いによってもめるのは、その地域に対する行政の認識不足が引き起こしているケースがほとんどである。	実施計画の 4-2. において、「連携と協働」の意識の共有や地域の課題を学ぶ機会の充実などを示しており、更なる「連携と協働」を推進していくことが必要であると考えています。
25	もう、市民活動に参加してもらうのは止めませんか。行政の下請けで活動するだけだと発展がありません。地域は行政が気に入らない方向に進むこともあります。活動を進めるにあたって仲間をふやしたいなら、活動の意味を回りに伝えるしかありません。そのことこそ、市民活動の最大の意義だと思います。欲しいのは説得のための資料提供、手法のコーチで、これは必要な環境づくりです。	ご指摘のとおりであり、もらうという表現については、文章を変更しました。また、実施計画 2-4⑤「情報発信力強化に向けた支援」において支援していく必要があると考えています。
26	コーディネーターに求められる力量は理解ができるが、こういったコーディネーターはどこから生まれるのか。地域のコミュニティ協議会に何かあったら行って言ってみようと思わせるのは、その地域で以前解決すべき問題にコミュニティ協議会が真剣に取り組んだという地域の記憶だと思います。ただコーディネーターという個である必要があるのか。その意味でも 2-4（9P）①②は注目されるべきです。地域コーディネート力は、協議会として経験を重ね、情報を蓄積している総体から生まれて初めて力を持つのではないのでしょうか。	特定の人をコーディネーターとして配置するという考えではないため、コーディネーターの表記をコーディネート機能と改めました。そして、必ずしも特定の人や組織がすべての力量を備えているということではなく、複数の人や組織が協力して全体としてコーディネート機能を発揮していくことが必要であると考えています。

27	コミュニティ構想のものとコミュニティは、偉い人をつくらない、みんなが個を持ちつつ、自分の得意分野を提供して、補いあって協議会総体として何かをするというあり方を経験的に作り上げてきたと思う。総体、みんなが共有するための必須の手段として、話し合う、少数意見も聞く、記録する（意見と結論の過程をトレースできる）、共有するというのを大事にしてきた。 ③の全市的立場や地域を超えたネットワークのもとに活動するコーディネーターになりうる人材の発掘及び育成方法を検討・実施する という存在そのものがあり得るのか	リーダーとして上に立ってコーディネートするというものでなく、各地域の活動を支援する形での役割を考えています。 また、特定の人材を配置するのではなく、市やプレイス、市民社協がそういった機能を発揮できるようにすることが必要であると考えています。
28	「地域フォーラム」をやってみて可能性があったと思った。さらにフォーラムという場への行政職員の参加に意味があったと思った。（行政がPR する場にしないで、あくまで一つの立場としてフォーラムに参加する。言いあってもよい。きちんと持ち帰ることが条件だが）	「地域フォーラム」は、様々な団体が参加することがコミュニティづくり・まちづくりに大切であると考えており、その中で行政も必要により参加できると考えています。
29	行政の最大の支援は、活動の広報、情報発信の場の提供ではないかと考える。	実施計画 2-1「情報提供の充実」において、支援の充実を図る必要があると考えています。
30	「我が子が安全に過ごせるための地域を求める」の「地域」とは、その後の「地域に入っていく」の「地域」のレベル感がつかめないのですが、前者は、公園や0 1 2 3を指すのであれば、場（所）でいいのではないかと？	地域とは、特定の場ではなく、生活エリアであると考えています。
31	「我が子が安全に過ごせるための地域を求める」行動が、「地域に入っていくスタート」「地域・社会とつながるきっかけ」とは思うが、それが市民活動への意欲にまでつながるかということそこには飛躍があるように思います。求めた際になかなか見つからず、誰かの手を借りたということなら、それが「自分も」という意欲につながる可能性はあると思うが、もっといい例はないか。	ご指摘のとおりであり、文章を変更しました。
32	全体として、コーディネート機能とコーディネーターの用語の使い分けがわかりにくい。	コーディネーターとして、特定の人物を配置するものではないと考えており、全体の表現として、コーディネート機能に改めました。

33	P 8 の 6 行目で、「…連携・協働におけるコーディネーターの役割を含め、コーディネート機能の重要が…」とありますが、意味的にはコーディネート機能 > コーディネーターということでしょうか？（ここでは、コーディネート機能を担う人がコーディネーターではないと読めるのですがそれでいいか？とすると、コーディネート機能には「コーディネーターの求められる力量」のほかになにがあるのか？コーディネーターを発掘、育成すること？）	ご指摘のとおりであり、文章を変更しました。
34	公的な機関のコーディネート機能はその職員がコーディネーターとして業務にあたるというのは理解できますが、地域コミュニティにおけるコーディネート機能の担い手もコーディネーターと呼んでいるのでしょうか？	コーディネーターとして、特定の人物を配置するものではないと考えており、全体の表現として、コーディネート機能に改めました。
35	地域にはコーディネーター的な存在はたくさんいらっしゃると思いますが、そのような方々を言っているとすれば、事実上コーディネーターだとしても、おそらく本人たちはそう思っていないので、それは言い過ぎではないか。	コーディネーターとして、特定の人物を配置するものではないと考えており、全体の表現として、コーディネート機能に改めました。
36	その地域の「コーディネーター」に「5つの力量」を求めるはハードルが高いのではないかと？複数の「コーディネーター」が補完し合いながらその役割を発揮していくという考え方もあるのではないかと？	特定の人をコーディネーターとして配置するという考えではないため、コーディネーターの表記をコーディネート機能と改めました。そして、必ずしも特定の人や組織がすべての力量を備えているということではなく、複数の人や組織が協力して全体としてコーディネート機能を発揮していくことが必要であると考えています。
37	施策として具体的に何をするのかわからない。具体的な事業を記載できないか。たとえば、① コミセンが「つながる場としてコーディネート機能の強化・充実を図る」ために市は何をするのか？	具体化に向けては、コミュニティ研究連絡会も含めて協議を重ねていく必要があると考えます。
38	市、プレイス、市民社協の3者が「…連携し、地域の枠を超えてコーディネートを行う機能の強化を図る」ために何をするのかが大事はないか。また、今の何を強化するのか？	「市民活動はじめて月間」（市、武蔵野プレイス、市民社協（ボランティアセンター武蔵野）がそれぞれ行う事業を市民活動の入り口として一体的広報）という、新たな事業を実施するなど、3者による連携を強化しており、今後も、情報共有を図り、各機関の役割分担を明確にして、でき得る支援について検討していくべきと考えます。

39	「市民活動のきっかけづくり」については、取り組んでいる主体に「市民活動の場の利用促進」「課題解決のための「連携と協働」の推進」が記載されているが、ここではあまり力を入れていると思われ、どの段階でどのように進められているのか、具体的でなく可視化されているようには感じられない。	実施計画 1-1「市民活動のきっかけづくり」を重点施策として位置付けており、推進していくことが必要であると考えています。
40	相談件数は「年々武蔵野プレイスの相談件数が減少しており」「今後、相談業務を行っていることを広く周知する必要があると思われる」とあるが、その実態は「周知不足」なのか。	プレイスの利用者に対するアンケート等の精査を行うとともに、相談窓口機能のPRを行うなど、相談しやすい環境づくりを推進していく必要があると考えています。
41	市民活動の特徴はその多様性にあり、一律の施策では十分な成果を上げられない場合があるため、ステージを想定し、これに該当する団体又は予備軍への支援を明確にすることにある。特に「活動萌芽」、「活動実践」の段階ではその支援はコーディネーターに広い知識と、経験が求められる。そのステージでの支援こそが、今後の活動促進の中心になるものだ。	実施計画 3-1.「武蔵野プレイスの有効活用」による支援や様々な学びの機会の提供により支援していく必要があると考えています。
42	「コミュニケーション力」「調整力」「創造性・企画力」「地域を良く知っている」「リスクマネジメント力」のすべての要素を備えた、コーディネーターは極めて少ないのではないのか。また学びでも獲得できるか否かは未知数である。育てる為にどれだけの資源の投入が必要か。	26. 36. で述べたとおり、特定の人をコーディネーターとして配置するという考えではないため、必ずしも特定の人や組織がすべての力量を備えているということではなく、複数の人や組織が協力して全体としてコーディネート機能を発揮していくことが必要であると考えています。
43	複数の人材をマネジメントする能力を持った人材による、総合コーディネーターのような仕組みがあり、いわばコーディネーターのコーディネーターというべきものだ。その実践により、育成にもつながることを期待する。	VI. 2-2 ③「地域や分野の間をつなぐコーディネート機能」において、各々活動しているコーディネーター同士をつなげるコーディネート機能について記載をしております。

44	活動促進のために最も必要とされるものは、特に「活動萌芽」、「活動実践」の段階で求められるスキルである。 「きっかけづくり」という言葉が出てくるが、具体的な手順や経験談、発想力の育成など、一般社会では、開発訓練や研修を経験したことのある方には理解される、「力を引き出す」スキルアップを経たことで備わる、導きの力の獲得など、相談者には高いスキルが求められる。この点を今後どのようにしていくのかだ。	実施計画 2-6 ③「コーディネート機能を担う人材の発掘・育成」において、コーディネート機能を担う人材の育成方法を検討・実施していく必要があると考えています。
45	全体を通して、これだというインパクトが見受けられない。何度も同じような抽象的表現で使われている。 提言なのでやむを得ない部分もあるが、「タイトル」や「表現」が平明に流れて、これで活動が促進されるだろうという思いになれない。 5年を経過して具体的なステップと見通しなど、実現に結びつくと思わされる計画に感じられない。 相談態勢、支援態勢、コーディネーターも含めて、具体的なステージごとの取組が明確化された時、今後の展開が期待できると考える。	現計画の目的や理念などは踏襲しつつ、コーディネート機能やコミュニティ、学びの機会の必要性、新たな重点施策などについて記載しております。これらを具体化することにより、市民活動を促進していくものと考えます。

7 武蔵野市市民活動推進委員会設置要綱

武蔵野市市民活動推進委員会設置要綱

(設置)

第1条 武蔵野市市民活動促進基本計画（以下「計画」という。）の進捗を管理するとともに、武蔵野市（以下「市」という。）と市民活動団体等との連携及び協働を図ること等により市全体の市民活動を促進するため、武蔵野市市民活動推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所管事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について調査、検討及び協議を行い、その結果を市長に報告するものとする。

- (1) 計画の実施状況及び見直しに関する事項
- (2) 市と市民活動団体等との連携及び協働に関する事項
- (3) 市民活動団体等の相互連携に関する事項
- (4) 市民活動支援に関する事項
- (5) 前4号に掲げるもののほか、市民活動を促進するために市長が必要と認める事項

(構成)

第3条 委員会の委員は、次に掲げる8人以内の者をもって構成し、市長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学識経験者
- (2) 市民活動関係者
- (3) 公募による者
- (4) 行政関係者

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年以内とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長各1人を置く。

- 2 委員長は委員の互選により選出し、副委員長は委員の中から委員長が指名する。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総括する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集する。

- 2 委員会の会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

3 委員会の会議の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは委員長
の決するところによる。

4 委員会が必要と認めるときは、会議に委員以外の関係者の出席を求め、説明又は資
料の提供を求めることができる。

(報酬)

第7条 委員の報酬は、武蔵野市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和36
年2月武蔵野市条例第7号）第5条第1項の規定により、市長が別に定める。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、市民部市民活動推進課が行う。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会について必要な事項は、市長が別に定め
る。

付 則

この要綱は、平成27年7月1日から施行する。

8 検討経過

8-1. 武蔵野市市民活動推進委員会の開催及び検討内容

委員会	開催日	主な検討内容
第1回	平成27年9月8日	(1) 委員会の運営について (2) 武蔵野市の市民活動推進施策について (3) 武蔵野プレイスの取組みについて (4) 武蔵野市の課題と委員会の進め方について (5) 意見交換
第2回	平成27年12月21日	(1) 第1回委員会の議論の振り返り (2) 市民活動促進計画の進捗管理の実施方法について (3) 市民活動促進計画の見直しの方向性と規模について (4) 市民活動促進計画の見直しのスケジュールについて
第3回	平成28年4月26日	(1) 市民活動促進計画の進捗管理の実施方法について (2) 市民意識調査等の結果について (3) 市民活動促進計画で対象とする「市民活動」について
第4回	平成28年7月26日	(1) 計画の実施状況について報告 (2) 計画の実施状況に対する評価表の作成 (3) 担い手不足解消のための取り組み、コーディネート者の具体化
第5回	平成28年9月27日	(1) 担い手不足解消のための取り組み、コーディネート者の具体化 (2) 行政に期待されていること、すべきこと (3) 地域の力に関すること
第6回	平成28年11月1日	(1) 中間のまとめ（案）について (2) 中間のまとめ構成について (3) 今後のスケジュール案について
意見公募	平成28年12月15日～ 平成29年1月6日	中間のまとめへのパブリックコメント募集
第7回	平成29年1月30日	(1) 中間のまとめに対するパブリックコメントについて (2) 「IV. 改定計画推進に向けた新たな方向性」について (3) 改定計画（案）の構成について
第8回	平成29年2月13日	(1) 武蔵野市市民活動促進基本計画改定計画最終案について
答申	平成29年2月20日	市民活動推進委員会より、市長へ改定計画案を答申

8-2. 武蔵野市市民活動推進委員会委員

武蔵野市市民活動推進委員会 委員名簿（敬称略）		
氏 名	職 名 等	構 成
田中 雅文	日本女子大学人間社会学部 教授（委員長）	学識経験者
竹内 敬子	成蹊大学文学部 教授（副委員長）	
千種 豊	武蔵野市民社会福祉協議会副会長	市民活動関係者
寺島 芙美子	けやきコミュニティ協議会運営委員	
高橋 淳子	武蔵野プレイス市民活動フロア運営協議会委員	
坂本 聡	（公財）武蔵野生涯学習振興事業団武蔵野プレイス事業部プレイス管理課調整担当課長	
市川 順子	市民公募委員	公募による者
北原 浩平 （平成 28 年 3 月 31 日まで） 佐々木 岳 （平成 28 年 4 月 1 日から）	武蔵野市市民部市民活動推進課長	行政関係者

（任期は平成 27 年 9 月 8 日から平成 29 年 3 月 31 日まで）

武蔵野市市民活動促進基本計画改定計画

平成 29(2017)年3月発行

〒180-8777 東京都武蔵野市緑町2丁目2番 28 号

武蔵野市市民部市民活動推進課

電話:0422 (60) 1830

FAX:0422 (51) 2000

E-mail: sec-katsudou@city.musashino.lg.jp